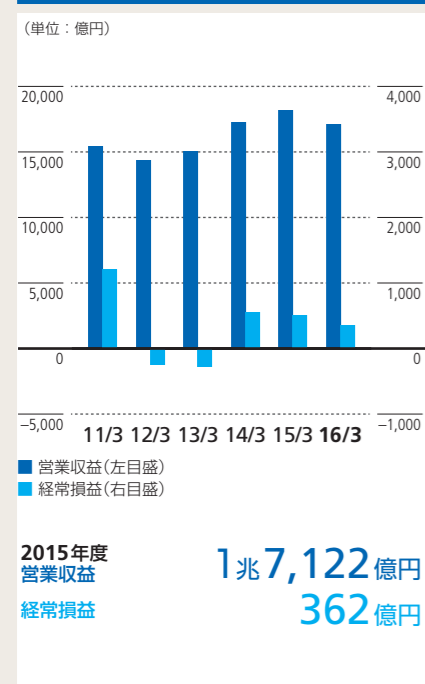


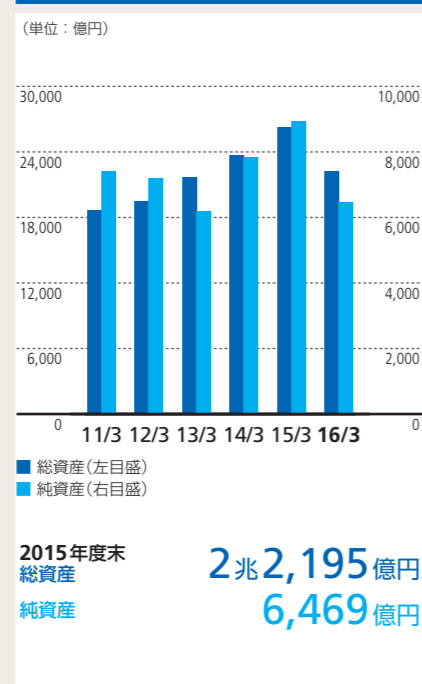
主要指標

営業収益／経常損益



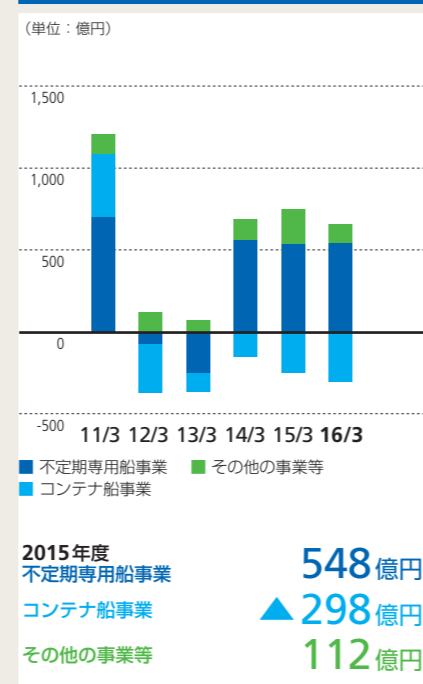
円安・燃料安や好調な油送船市況の恩恵に浴したものの、ドライバルク船市況とコンテナ船運賃水準の歴史的な低迷の影響を受け、営業収益は前期比1,048億円減、経常利益は150億円減となりました。

総資産／純資産



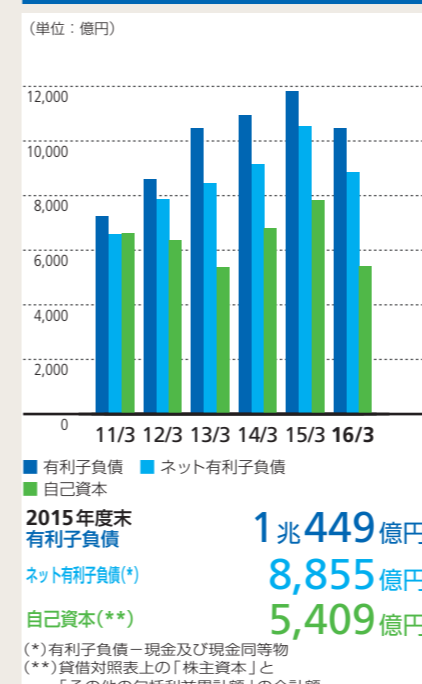
総資産は船舶及び投資有価証券が減少したことにより前期末比4,044億円の減少となりました。純資産は主に利益剰余金が減少したことにより前期末比2,455億円減少しました。

セグメント別経常損益



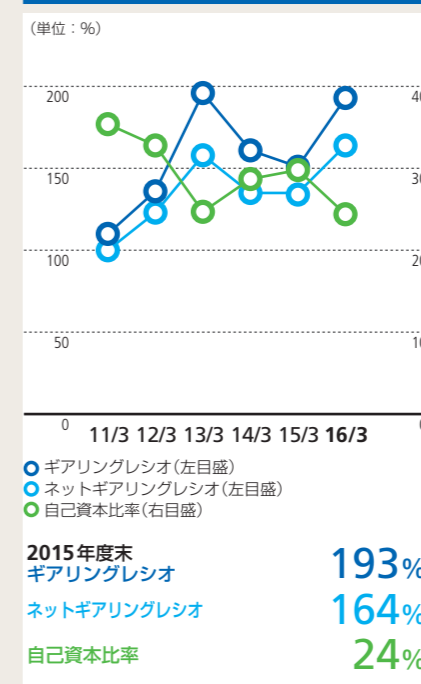
不定期専用船事業は、油送船部門とLNG船・海洋事業部門の増益をドライバルク船部門と自動車船部門の減益が打ち消す形となり、前期とほぼ同水準となりました。コンテナ船事業は損失が拡大しました。

有利子負債／ネット有利子負債／自己資本



短期借入金及び社債の減少により有利子負債は前期末比1,384億円減の1兆449億円となる一方、構造改革に伴う利益剰余金の減少により自己資本は前期末比2,416億円減の5,409億円となりました。

ギアリングレシオ／ネットギアリングレシオ／自己資本比率



前期末比で有利子負債は1,384億円減、総資産は4,044億円減、自己資本は2,416億円減となりました。その結果、ネットギアリングレシオは29ポイント、自己資本比率は5ポイント悪化しました。

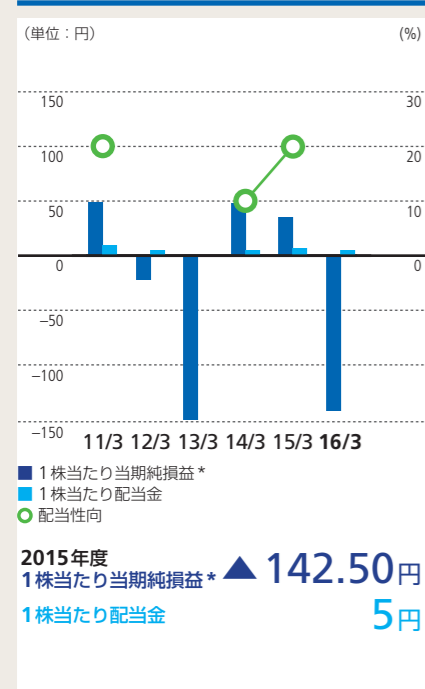
格付(2016年6月現在)

種類	格付け
短期格付け (コマーシャルペーパー)	J-1*
長期優先債務 (発行体)格付け	A-*
長期格付け	A-*
発行体格付け	BBB
短期格付け (コマーシャルペーパー)	a-2
長期個別債務格付け	BBB
コーポレート・ファミリー・レーティング	Ba1*
日本格付研究所 (JCR)	A-*
格付投資情報センター (R&I)	BBB
Moody's	Ba1*

構造改革による財務体質の悪化や海運市況の低迷長期化を受け、格下げとなりました。今後は成長戦略や財務体質改善の道筋を格付機関に丁寧に説明し、格付の改善を目指していきます。

(*)クレジット・モニター指定中

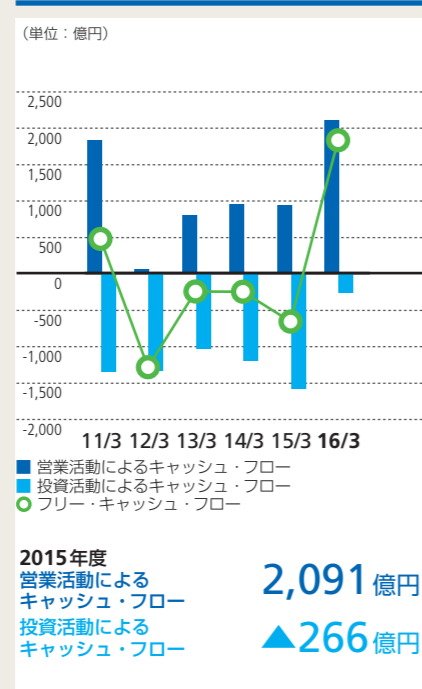
1株当たり当期純損益*／配当金／配当性向



当期純損益*は構造改革費用を計上したこと等により前期比2,128億円減となりました。年間配当は、前期比2円減配の1株当たり5円(中間配当3.5円を含む)を実施しました。

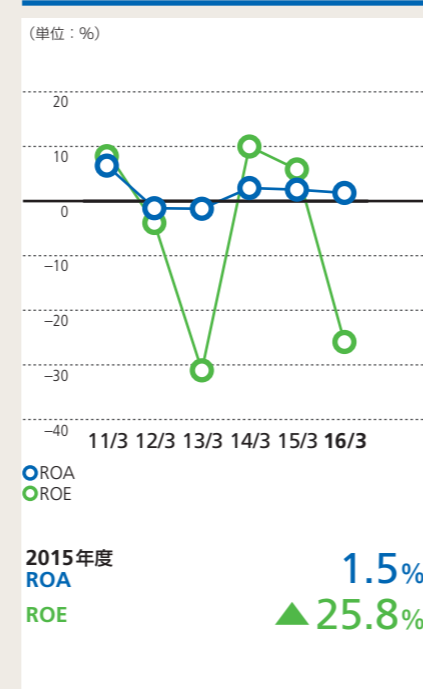
(*)親会社株主に帰属する当期純損益

キャッシュ・フロー



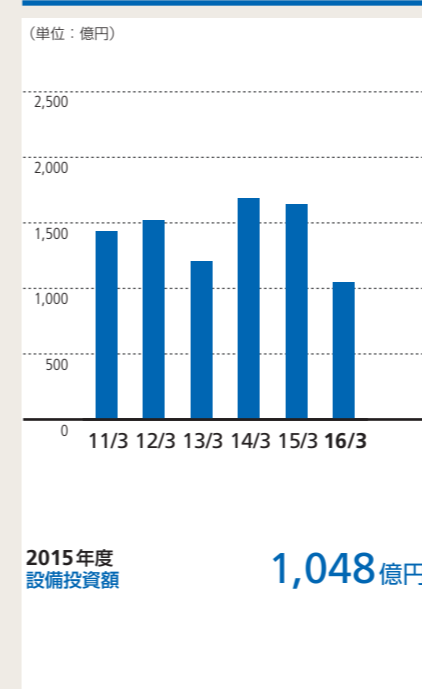
営業活動で得られた資金は、前期比1,166億円増となった一方、投資活動によって支出された資金は前期比1,324億円減の266億円となり、フリーキャッシュフローはプラスになりました。

ROA／ROE



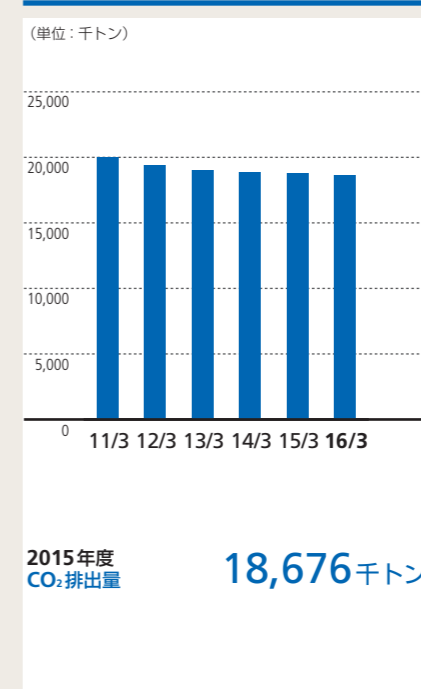
経常損益・親会社株主に帰属する当期純利益が市況連動損益の悪化と構造改革に伴う特別損失により低下したことから、ROA、ROEともに前期比で低下しました。

設備投資額



この設備投資額は、有価証券報告書に掲載の有形及び無形固定資産の増加額から竣工時売却収入を控除した実質的な数値です。

当社運航船CO2排出量



掲載のCO2排出量は、主に当社グループが運航する船舶が燃料として使用したA重油・C重油を起源としたものです。